



赤磐

平成21年 **12** 月議会

市議会だより

No.19



もくじ

12月議会のあらまし	2P
1月臨時会のあらまし	4P
委員会のうごき	5P
13人の議員が一般質問	7P

市議会の会議録がインターネットでも閲覧できます。ご利用ください。



<http://www.kaigiroku.net/kensaku/akaiwa/akaiwa.html>
(※赤磐市のホームページからもアクセスできます)

12月議会のあらまし

議案審議

12月定例会を、11月26日から12月19日まで、24日間の会期で開催した。
議案9件および議員発議の議案1件を可決した。
また、請願2件を不採択とした。

財産取得

問 消防自動車購入において、設計見積金額は水槽付消防ポンプ自動車が4928万9743円で、予定価格が4928万9000円。化学消防ポンプ自動車は5214万6886円で、予定価格5214万6000円である中、入札願末書から見ると、入札4社が微妙な数字であり、いわゆる勉強会等と称する談合があったのではと疑いたい。どのような調査をしたか明確な答を求める。

答 予算編成時に、4社からすべて見積を取り寄せ、そのなかで最低価格の88パーセントで予算計上している。したがって、設計金額と予算が一緒となった。また、この4社の指名については、赤磐市への指名願が出ている業者で、なおかつ過去、指名実績がある4社ということ、入札させている。

価格は設定していない。

問 入札のやり方を変えるべきではないか。

答 入札については、今までのやり方を踏襲しているが、今後、指摘のあったように、消防ポンプのこれからの購入については、他の市町村の状況を十分把握し、公正な入札ができるようにしたい。

問 車体はこのものが入るのか。

答 今までの納入実績から、日野が赤磐市の場合ほとんどなので、日野を希望している。

条例改正

赤磐市長および副市長の給料等に関する条例

赤磐市職員の給与に関する条例

問3・1カ月となる。

問 改正の詳細は。

答 今年度12月支給分を0・25カ月減額。22年度は6月支給を0・15カ月減額。12月支給分は0・15カ月増額し、21年度以降の年間の支給を3・35カ月から3・1カ月に改正する。

問 改正の詳細と減額はいくらになるのか。

答 人事院勧告に従い、住居手当、期末手当、勤勉手当等、年間給与で民間との均衡を図る。減額は年間平均で11万6000円となる。

問 教育長はどうなるのか。

問 人事院勧告は今後完全実施していくのか。

答 市長および副市長の給料等に関する条例の例により、計算して得た額となり、市長等と同じ年

答 財政の問題もあるが、今後も重視していく。



冬景色の中登校する児童



21年度補正予算

国民健康保険 特別会計

が創設された。

問 一般会計からの繰入金約2億5900万円は当初予算に対して大幅な増額だが、根拠は何か。また、職員給与費等繰入金

答 一般被保険者の医療費の伸びによる財源不足

のため繰り入れるものである。また、職員給与費等繰入金は需用費等の事務費を含んだ法定の繰り入れである。今後は慎重に予算編成していく。

問 医療費の大幅な増額に対して療養給付費等負担金が5000万円の減額はなぜか。

答 19年度までは、退職者被保険者の年齢が60歳以上74歳までだったが、20年度から60歳以上64歳までと10年間短くなった。その費用を負担するために前期高齢者交付金

介護保険特別 会計

問 介護予防サービス計画費収入について増額の説明を。

答 今回介護報酬が3パーセント増額改定された。それに伴い64万3000円を増額した。

問 恩給組合負担金の説明を。

答 恩給対象者の年金は恩給組合から基本的には拠出するものであるが、不足分を加入市町村が負担すると法律で決まっている。

土地取得特別 会計

問 不動産売却収入、公有財産購入費46万2000円について、売却先と場所はどこか。

答 仁堀工業団地で土地開発公社から購入して、モリマシナリーへ売却う。

問 単価はいくらか。また、未売地はいくら残っているか。

答 1平方メートル当たり1540円である。21年度末で未売地は1万9795平方メートルである。

赤磐市民病院 事業会計

問 ジェネリック医薬品などの安い薬を選択してもらい赤磐市の負担を少なくしてもらいたい。

答 市民病院は毎年かなりの赤字が続いているので、ぜひ経営改善を図っていききたい。ジェネリック医薬品については院長らと話し合いをして、使えるところについては情報交換したい。

問 給料379万7000円の説明を。

答 20年度に正看護師3人が退職し1人は即補充できたが、2人は補充できず21年度になって2人補充できたので補正した。

問 管理職手当147万円の説明を。

答 当初若いインターンが来ると思い計上していたが、医局の医長に匹敵する人が来られたため補正した。

議員の期末 手当を減額

今回赤磐市議会では、議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を決議し、可決した。

【改正内容】

21年12月分の期末手当について、支給月数を1・75ヵ月から0・2ヵ月減額し、1・55ヵ月とした。

提案された議案が廃案に

前例のない議会運営

12月定例議会において、会期の延長（2日間）を行い慎重に議案の調査と審査を行っていた。議会最終日前の委員会では、市長が、委員会での採決に至る見込みが難しいと判断し、「審議未了で結構です」と宣言され、委員会での審査が終了した。

産業建設常任委員会へ付託された8件の議案も、5日間に渡り継続的に審査が行われていた。議会最終日前の委員会では、市長が、委員会での採決に至る見込みが難しいと判断し、「審議未了で結構です」と宣言され、委員会での審査が終了した。

今議会に提案されていた議案で、8件が審議未了で廃案となり、その他については、本会議に付され、全議案賛成多数で可決された。

廃案となった議案については、市長が専決処分を行った。

今議会一連の事件は、執行部は、十分な説明責任を果たしていたか、議会の審査・調査権は守れたのか、他市町村に前例のない多くの課題と反省が残された。正常化へ最大限の努力をしたい。

赤磐市議会議長 佐藤武文

一口メモ

専決処分とは

時間的に議会の開会を待てない緊急の場合などに、市長が議会に代わって条例や予算などを決定することをいいます。

なお、専決処分をしたことは、次の議会で承認を得なければなりません。

請願

第10号

後期高齢者医療制度廃止や母子加算復活などを求める請願

【不採択】

【要旨】

後期高齢者医療制度の廃止、生活保護母子加算の復活、障害者自立支援法の廃止、公費投入で、利用者負担を増やさず介護報酬を引き上げることなどを求める。

【賛成討論】

市民の切実な声を代弁する地方議会として、声を上げていくべきなので賛成である。

第11号

「所得税法第56条の廃止をもとめる意見書」提出を求める請願

【不採択】

【要旨】

中小業者は地域経済の担い手として日本経済の発展に貢献してきたのに、配偶者と親族に対する対価の支払いは必要経費に算入されない特例の廃止を求める。

【賛成討論】

同じ労働に対し、青色と白色で差別をつけるという制度自体が、矛盾しているので賛成である。

1月臨時会のあらまし

議案審議

1月臨時会を1月20日に開催した。
承認案件7件を承認、議案1件を可決した。

備前広域環境施設組合規約の一部変更議案を可決

赤磐市議会では、3市1町で構成される備前広域環境施設組合から備前市、瀬戸内市が脱退する事に伴い、その構成を和気町との1市1町に変更するための規約変更議案を可決した。

地方自治法100条に基づく調査特別委員会を設置

赤磐市議会では、「赤磐市元職員及び職員の背任及び虚偽公文書作成容疑」の調査に関する動議を可決し、調査特別委員会を設置して委員の選任を行った。

〈名称〉

赤磐市元職員及び職員の背任及び虚偽公文書作成容疑調査特別委員会

〈調査事項〉

地方自治法第100条の規定による、赤磐市元職員及び職員の背任及び虚偽公文書作成容疑に関するすべての事項

〈委員定数〉

7人

〈委員〉

委員長	小倉 博
副委員長	岡崎 達義
委員	小田百合子
委員	山田 秀士
委員	下山 哲司
委員	森川 勸治
委員	原田 素代

総務文教 常任委員会

11月27日、12月8日に総務文教常任委員会を行った。
議案5件、請願1件について審査した。

財産取得

問 消防自動車の見積もりした4社が入札しているが、公的機関や専門家でできないのか。機装の内容を提示すればできるのではないか。

答 中立的な機関がなく、

他市も同様に行っている。県にも確認したが、各消防本部や各車両により仕様が異なるので基準がない。今後は国へも問い合わせるが、現状のような方法になる。

問 考えられる範囲の方法で行ったということか。

答 現状考えられる範囲での判断である。

問 古い車両は消防団や工業団地で使っても使えないのか。

答 特殊なので消防団での使用は難しい。工業団地は基

水槽付消防ポンプ自動車



条例改正

市長、副市長の給料等

問 人事院勧告は関係なく、市長の判断で0・25カ月下げるのか。

答 社会の状況を見ながら職員の期末手当と同様とした。

問 6月に下げたものを22年12月に上げるのか。

答 21年度は1年分を12月のみで減額した。民間と比較し、22年度以降は年間で3・1カ月となるよう調整した。

問 下げたことで浮いたお金は住民福祉のために

使うのか。

答 市民の役に立つよう使いたい。

職員の給与等

問 6月の人事院勧告と関係なく、市独自の判断であるということを確認したいが。

答 人事院勧告は年間で調整するようになっていく。12月で調整したい。職員組合から要望を受け、話をしたが社会情勢から仕方がないと理解していた。

問 12月の人事院勧告が出なかった場合、市独自で改正を出す考えはあるのか。

答 人事院勧告のあるなしにかかわらず、考えていかなければならないと思っていた。

問 人事院勧告は完全実施していくのか。

答 財政的に追い込まれれば話は変わるが、していかなければと考えている。

21年度 土地取得特別 会計補正予算

問 売払収入と土地取得の確定日は、それぞれいつか。

答 年度末に入金いただき、登記もその日で行う。

問 残りの面積はいくらか。また、その中で市が有効に活用できる土地は

ないのか。

答 モリマシナリーへ本年度売払い、残りの面積は1万9795平方メートルで3筆である。

モリマシナリーと覚書を締結していない面積は1万9841平方メートルで、公園の法面や道路、墓地の予定があった所が含まれており、また、覚書を締結している場所と離れており有効利用はしづらい。



売却予定の土地（仁堀工業団地）

厚生 常任委員会

12月9日に厚生常任委員会を行った。
議案4件、請願1件について審査した。

条例改正

廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例

問 事業系ごみ手数料を10キロあたり100円から130円に値上げすることについて、関連業者への説明、事前の意向調査などはしたのか。

答 条例が決まり次第説明をする。特に大量に出している事業者に対する排出実態の調査をした。

問 ごみの中で生ごみが大きなウエイトを占めるが事業系ごみの単価引き上げとともに分別を進めていく考えはあるか。

答 事業系ごみの相当な割合が生ごみだと調査でわかった。分別の話も進めたい。手数料が上がることで事業者自らが分別等努力をされると考えての値上げである。

問 事業系ごみの持込みは今どれ位か。また近隣地域の持込手数料は。

答 現在市内からの持込みは285事業所で、20

年度は1736・46トン。1事業所あたり年間6・1トン持込まれている。10キロあたり100円で1736万4600円になる。

近隣の持込手数料は岡山市130円、瀬戸内市120円、和気北部および備前市100円。和気北部も130円を目標に条例改正に取り組むと聞いている。

21年度 補正予算

国民健康保険 特別会計

問 共済費は他の会計の場合と同じか。

答 恩給組合の自治体負担の根拠が職員の給与が基になっているため、同じである。

介護保険 特別会計

問 地域包括支援センターができて在宅介護支援センターは今もやっているのか。

答 18年度に全て廃止になっている。職員は移行している。旧町で直営と委託であったものが全て市の直営になり本庁と支所に職員を配置している。

問 職員の配置はどう



地域包括支援センター赤坂分室

なっているか。

答 本庁に5人、保健師、社会福祉士、事務職である。熊山、吉井分室は各1人。赤坂分室の職員は社会福祉協議会からの派遣であり全部で7人。6人分は保険事業勘定の地域支援事業費に計上し、1人分はサービス事業勘定に計上している。

問 給料の減額が6人で226万9000円にもなるのか。

答 予算の時点では前の職員で計算していたため差が出てくる。

赤磐市民病院 事業会計

問 なぜ特殊勤務手当が薬剤師はつかないのか。

答 緊急医療の指定を受けているため、24時間体制の勤務が基本になっている。

問 薬剤師は今、派遣か。

答 1人は正職員、もう1人は派遣から現在は臨時で対応している。

問 研修医が当直、日直をしていたのを変えたのはなぜか。

答 昨年度まで岡山大学医学部の研修医を主にしていたが、今年度から常勤の医師が1人増えたので常勤3人が主に行っている。研修医もケースによっては来ている。

一般質問

市の考えを問う

13人の議員が登壇し市の考えをたきました。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。



問 是里ワイン醸造場への職員派遣は違法では

答 技術支援の為だが、人件費等は事後精算する

問 広域ごみで①現在の進捗状況と今後の建設計画②脱退の備前市・瀬戸内市の経費負担③他組合への波及は。

答 ①備前広域環境施設組合から備前市・瀬戸内市脱退により和気町と調整し一市一町で組合を引継ぐ②脱退によるマイナス部分は脱退の市から資金を充ててもらおう③影響がないよう各市町長と協議。

問 デイサービス事業で①たいむ・ポケットの補助金1500万円は②ゆめの里の利用者の散髪等は理容法違反では。また、一級河川高田川から取水しているのは河川法第23条違反で1年以下の懲役又は50万円以下の罰金であるかどうか。

答 ①理事長の破産手続き開始決定を受け債権回収は無理②今後取水しない。井上建設が私の指示でポンプを撤去した。今後県の指導を待つ。
問 市営プールで①吉井

地域B & Gプールの冬期休止は②市営プール燃料を木材ペレットにしては。

答 ①地域の大切な運動施設で必要。利用者要望を十分把握、見直し等を検討②燃料は検討する。

問 入札で①入札参加者最低価格の変更等を行っているが高落札が多い②入札で失格者が多く異常な入札執行である。

答 ①国の基準を参考に低落札審査基準や最低落札価格を設定し弊害の排除に努めている②競争激化で最低落札価格を下回った業者が多かった。

問 熊山・桜が丘の給食センターの早期統合は。

答 平成24年度稼働に向けて進めている。

問 職員を第三セクターの是里ワイン醸造場へ派遣したのは法令違反では。

答 是里ワインの正規社員が退職し技術支援の市職員が事務等を援助。人件費等は事後に精算する。
問 公共墓地進捗状況は。



北川勝義議員



是里ワイン醸造場

答 財政が厳しい折、早急な取り組みは難しい。
問 消防対応で各支所本部機動部の人員確保は。
答 各支所機動部の人員は減少しているが他の機動部員が応援する。
問 ワインフェスタの市内外の参加数と試飲などにお金を取りポスターやバスも出さなかったのは。
答 市内650人、市外1750人。十分事業の検討ができていなかった。
問 多賀工業団地の緑地代は大和ハウスと環太平洋大学が負担すべきだが。成するため必要である。

表紙のひとこと

湯山神社の霜月祭（そば切り祭り）

冬の季節を迎え、日増しに寒くなってきた平成21年12月13日（日）、山手地区にある湯山神社で、毎年恒例の霜月祭（そば切り祭り）が開催されました。この祭りは、地元で収穫したそばを奉納し振舞っていたのが始まりのようで、昔から行われているものです。地域の人たちが大勢参加して、餅投げなどを楽しんでいました。

問 市内のごみ処理場の長寿命化は検討されるのか

答 延命化によるさらなる 使用延長は考えていない



小引美次議員

問 ①2市脱退情報をいつの時点でキャッチしたか。
②和気町との情報交換はされているか。

答 ③市内のごみ処理場の長寿命化は検討されるか。
④処理場予定地の地元にごどのように対応されるか。
①10月7日午後5時に来庁され、口頭で備前、瀬戸内両市長よりあった。
②和気町に対しては10月19日1市1町での広域組合の継続を申し入れ、大森町長、秋山議長と機会ごとに継続の話をしている。
③延命化によるさらなる使用は考えていない。
④1市1町で進めていくにしても、処理施設は、赤磐市のほうで引き受ける



ごみ処理のようす（赤坂環境センター）

のが筋である。また、まず白紙ということではなく、第一義的には今（石蓮寺とその周辺地域）のところで協議をしていきたい。

問 桜が丘東1丁目のサッカー場建設について。
答 地元のご理解をできるだけ多くの人にいただき推進を図り、有効活用していきたいと考えており、21年度内には結論を出して決着をつけたいと思っている。

問 2市脱退によるごみ広域一部事務組合の総括

答 和気町と広域を進める



原田素代議員

問 10年間にわたり、市町村の事情を無視した県の計画が、「経済性」「環境負荷」の両面から批判を浴び、先進自治体はごみ処理にできるだけ税金を投入しない処理政策を研究し、住民協働で新たな手法に取り組み始めている。備前市、瀬戸内市も脱退理由は「既存施設の改造と減量化で大型施設をつくるより安い」「国は既存処理施設の長寿命化に対する補助の計画を打ち出している」「建設候

補地の住民の理解を得にくい」などである。

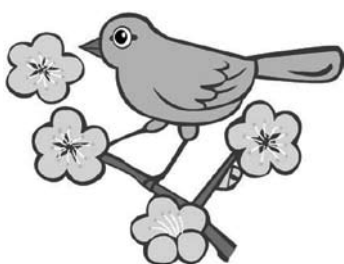
しかし和気町長と井上市長は、1市1町でも広域でやりたいと固執している。しかし10月23日の新聞報道で大森町長も、井上市長も「既存施設を修繕、維持すれば安く上がるのは最初からわかっていた」と2市の脱退を批判している。これでは赤磐市も単独でやれば大型施設を建設するより財政負担は少なくなるはずである。

今やるべきことは、2市の脱退により、4割の規模に縮小された広域事務組合は白紙に戻し、「既存施設の改造と、ごみの減量化の努力で単市でやる場合」と、「和気町と広域でやる場合」との財政比較できる試算を示し、市民に説明責任を

答 果すことではないか。桜が丘清掃センター、赤坂環境センターの状況から財政比較の試算は、考えていない。

桜が丘東1丁目サッカー場建設は断念を

問 11月7日の意見交換会を受け、11月19日に市役所で町内会長が、「町内会としての総意としてサッカー場建設に反対です」と言っている。市長は「町内会長を中心に判断したもの町内会の総会的意見と考える」と言っているのだから、白紙撤回を決め、市民と大に説明すべきである。
答 町内会長の意見を聞いて市の方針を決めたい。



問 職員の派遣について

答 職務命令で派遣した



森川勸治議員

田原用水分担金について

問 先の一般質問において農業共済、減反政策、農業所得は水張面積となっているのに、田原用水分担金も同様にしたらどうかとの質問に検討するとの答弁だったが、どうなったか。

答 田原用水の役員会に諮ったが、従来から土地台帳面積で対応しているもので、今後も同様でいくとの結論となった。

一般質問について

問 一般質問での「検討する」との答弁について、次回の議会で検討結果を報告されてはどうか。

答 次回の議会の諸般の報告は、前回の定例会から今定例会に至る間の重要な事象経緯の結果報告であるので、一般質問の検討結果についてはご容赦願いたい。

法令順守相談員について

問 安全・安心のまちづくりについて、法令順守相談員に警察官OBを採用されたが、その費用対効果は。

答 週4日勤務で月16万円の報酬。市民からの相談、生活ごみの不法投棄、詐欺などへの対応指導、図書館不審者への対応、図書購入強要等への対応

等、警察での経験を生かして十分な費用対効果が上がっている。

赤磐市民病院の今後は

問 今後の位置づけや運営方針は。建て替え、診療科目、ベッド数、赤字解消等総合判断していると思うが、病院運営委員会への諮問はされているのか。

答 病院運営委員会に諮問を行い、存続を前提として運営形態を見直し、建て替えに関わる財源確保に取り組まれている。答申をいただいている。現在院長や医師に、ビジョンの研究、検討や建て替えに関する具体的な計画をお願いしている。ビジョンができた次第、議会の関係委員会、病院運営委員会へ諮りたい。



赤磐市民病院

問

光触媒の技術を研究し
取り入れてはどうか

答

専門機関の意見を聞き
研究していく

問 光触媒は光を吸収し有機物を分解し除菌したり、においを抑える効果がある。全国的に大流行の新型インフルエンザの拡大を防ぐ方法として多く使用されている。

岡山のバス・タクシーの一部でも車内の抗菌対策として実施され、紳士服のメーカーでも取り入れている。

活性酸素がウイルスを分解する効果が一般のアルコール消毒より長期間持続する利点もある。

抗菌の効果は大腸菌、サルモネラ菌等の殺菌のみでは安心できない。死骸にも毒性のあるO-157大腸菌・ペロ毒素なども完全にクリーンに戻せる。

本市においても専門家と連携し、取り組んではどうか。

答 光触媒は今後幅広い活用が期待されている。

抗菌機能については酸化チタンが太陽や蛍光灯の光エネルギーを吸収し強力な分解力を発揮する。塗布やスプレーによる安易な方法も一定期間の効果を得られることから保育園・学校等の衛生管理に従来の予防対策とあわせて専門機関の意見を聞き進める。

山陽団地の施設 総点検を

問 昭和46年の入居開始から40年近く経過した。

近年集会所の建て替え、下水管の補修や、公共擁壁の調査等は進められている。さらに陸橋の腐食・ガードレール・



歩道橋の老朽化した部分（山陽）



海野雅之議員

大型看板・弥生公園のトイレや、街路樹の整備・高倉山山頂のトイレ等や道路のマンホールの緩み等の総点検をしてはどうか。

答 経年により総点検、リニューアルも必要な時期であり、細かに各施設の総点検やパトロールをし、調査を行い計画的な維持管理に努めたい。

問

市として、25年までの
ごみ3割減の計画を

答

事業系ごみ増で3割減は
難しいが、減量化する



福木京子議員

3割減の計画は難しいが、雑紙等の回収を熊山、吉井地域にも広げ、減量化する中で焼却炉の規模を決めたい。

国保の一部負担金
減免制度の活用を

問 生活困窮国保世帯への対応を示した厚労省の通知が出されている。国

保の一部負担金減免制度が適用されるよう、各種の制度の連携、周知、窓口相談の充実をすべきと思うがどうか。

答 相談に来られた場合の対応は、国保と福祉部門は連携している。より一層きめ細やかな相談ができるようにしていく。

平和行政の推進を

問 今、世界的規模で核

豊かな自然と明るく平和な暮らしは、私たち人類の共通の願いです。
しかし、世界の各地では、依然として武力による多くの紛争が繰り返され、世界の平和と安全、人類の生存に深刻な脅威をもたらしています。
戦争を経験した我が国は、世界で唯一の被爆国として、戦争や核兵器の恐ろしさや苦しみを深くかみしめ、平和の尊さを世界の人々に強く訴え続けていかなければなりません。
赤磐市は、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、市民とともに希望に満ちた安心して暮らせる社会を築き、かけがえのない自然を未来に引き継いでいくことを誓い、ここに平和都市を宣言します。

平和都市宣言

兵器をなくそうという機運が高まっている。赤磐市は平和都市宣言をしており、市民が行っている平和活動への支援をもっと強めていただきたい。広島、長崎市長が呼びかけた平和市長会議に加盟して、積極的に推進をしてもらいたいがどうか。
答 市民の人たちが自主的に活動されていることに敬意を表したい。すべての活動に公平に支援を行うのは困難で、支援は考えていない。平和市長会議の趣旨はよくわかるが、加入は見送る。

問

赤磐市民の
一人当たりの借金は

答

約84万4000円

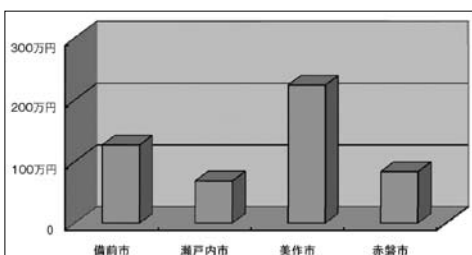


金谷文則議員

下水道とブロードバンド等の事業に関し、市民の負担は

問 下水道とブロードバンドについて、市民は、自分の家でいくらの個人負担が必要か、大変心配だ。設置される場所とされない場所の境界と、個人の負担金額はいくらから例を示せ。ブロードバンド設置後の市の負担が6700万円であるが加入者が増えれば、市の負担が少なくなるのではないか。市民への負担について分かりやすい説明を求める。

答 公共下水道の赤坂地域は、平成25年度から30年度にかけて整備をし、軽部から上下流において区域の線引きをする。各家庭の負担は、桝1個当



近隣市の市民1人当たりの借金額
(19年度財政状況より算出)

たり30万円。排水工事等を含め平均的には100万円が必要。下水道料金は25トン使用で年間約4万1160円。ブロードバンドのインターネット接続は、通常2万7900円だが、N-TTの割引が適用されれば800円。月額費用は5970円程度。来年度の後半に使える可能性があるが、まだ、国の最終的な通知はない。市の維持管理費は最大限6700万円の予定。回線使用料は1件約7500円で、個人6000件程度のうち事業者がどれだけ契約できるかによる。目安は30パーセント。

問 外灯を視認性の高いオレンジ灯に

答 優先順位をつくり、進める方向で検討



松田 勲議員

ンジ色（ナトリウム灯）の外灯にかえてはどうか。

答 安全・安心の確保の上からも、地域の実情あるいは現地調査をし、優先順位をつくり、必要に応じて道路管理者と協議をしながら、水銀灯からナトリウム灯へ切りかえる方向で検討したい。

財政の健全化に計画の立て直しを

問 20年度決算の中で、実質公債費比率が14・7パーセント。

国の財政が厳しくなっていく中で、地方交付税が減っていくことは避けられない。

財政計画を早急に立て直し、市民の人たちにも財政の健全化に向けて可視化を行い、理解していただく努力も

必要である。

事業の優先順位も見える形で、計画的にやっていくべきではないか。

答 市の総合計画との整合性を図りながら、今後の事業執行においては、事業の統合、縮小、先送り、中止などで事業費の抑制を図っていく。

これまで取り組んできた経費節減を今後も一層進めるとともに、歳入確保にも十分努めながらこの状況をしのいでいきたい。

また、産業集積と地場企業の育成、企業誘致など地道に準備をし、推し進めていきたい。



信号機のない横断歩道（桜が丘西）

問 高齢者対策について

答 高齢者が生き生き元気で暮らせる街づくりを推進



川手辰夫議員

高齢者を切り捨てないように願いたい。

答 高齢者は戦後の日本の復興を支えてくれた人たちであり敬意を持つべきで、安心・安全な生活を願っている。

若い人たちの子育てに對しては中学校3年までの医療費の無料化等に取り組んでいると同時に、高齢者対策として福祉タクシー券の発行、健康安否確認のための配食サービス事業、ホームヘルプ事業、緊急通報システム事業など各種サービスの提供や、山陽老人センター、熊山老人憩いの家、笹岡デイサービスホーム等ふれ合いの場

問 子育て支援についての対策は十分であるが、高齢者に対する対策が見えない。60歳前後の人は団塊の世代として、戦後の日本を食うや食わずの生活を余儀なくされながら、今日の日本を築いてきた世代である。



の提供。シルバー人材センター、老人クラブ、地区敬老会の助成、季節性インフルエンザ予防接種への補助等。

高齢者の生き生き事業として社会福祉協議会に事業委託を行い福祉サービスの受給調整等を行っている。

今後とも増加する高齢者が住みやすく、住み慣れた地域で安心して安全に暮らしていけるよう、各種の取り組みを実施していきたい。

問 給食センターの大型化は 問題が多すぎないか

答 合併特例債が適用できる
統合施設を造りたい

協等の協力も得たい。

問 今、桜が丘と熊山が統合されようとしているが、現在でも合わせて2500食以上になっている。大型化は地元産の野菜が使われにくく冷凍物が多くなり、調理作業も大変になる。子どもたちにも、現場でもデメリットが多すぎる。

1500食前後のセンターにすぎと思うが農業を守り育てる観点から見直してはどうか。

答 統合によるさまざまな危惧をされているが、維持管理費削減、衛生基準を順守した施設設備で安全・安心な給食の供給やニーズに対応できる整備ができる。また財源面で単独2カ所造れば合併特例債が発行できない可能性もある。農業振興、地産地消については教育委員会、産業振興部、農



川澄章子 議員

政的な観点からも新たな児童館などの計画はない。

基本水量の廃止を

問 基本水量8立方メートル以下の世帯が不公平感なく、納得して払える料金にしてはどうか。

答 毎年赤字額が増加する見込みなのでできない。



山陽児童館

問 特定不妊治療に助成制度を

答 前向きに検討する



治徳義明 議員

大きな負担がある。岡山県では特定不妊治療に関して助成制度を設けているが、不十分であり、そのために経済的な理由で、はじめから若しくは途中から治療を諦める夫婦も多くいる。赤磐市でも特定不妊治療に対する助成を行っていくべきではないか。

答 少子高齢化が進む中で、子どもを望む人への支援をできる限り行っていくたいと考える。財政状況もひっ迫している現状であるが、前向きに検討する。

後発医薬品の普及促進について

問 市民の健康が第一であることが前提として安全性・品質が保証されているのであれば、急速な少

子高齢化の進展を背景に増大の一端をたどる国民医療費の抑制、そして何よりも市民の負担を軽減するためには後発医薬品の普及促進(後発医薬品希望カード配布等も含め)に努力すべきではないか。

答 広範囲で協力し合っ

医師・薬剤師の皆様へ

**ジェネリック医薬品
希望カード**



私はジェネリック医薬品を希望します

後発(ジェネリック)医薬品希望カード
(これはイメージです)

問 ごみの一部事務組合が 崩壊した責任は

答 市民や議員の皆様にも 大変ご心配をおかけした



梶野志郎議員

いる。今後は関係者と十分協議をし、ぜひ、和気町と1市1町で広域を維持してやっていきたい。

岡山県の責任については、県の広域化計画に沿った事業展開をしてきた。このような結果になって残された市町に対する一層の支援があるものと思う。

問 市長が、上勝町長が講演した集会に参加したことは非常に軽率だ。それがきっかけで、備前市

答 ごみ処理広域化施設の整備にまい進してきたが備前市、瀬戸内市の2市が脱退という事態になり大変残念だ。副管理者の備前市長、瀬戸内市長、和気町長と協議をしながら円滑な運営に努めてきたつもりだ。結果としてこのような事態になり管理者として責任を感じて



県が19年3月に定めたごみ処理広域ブロック

と瀬戸内市の市長が脱退を表明した。荒嶋前市長なら集会に参加する以前に備前市と瀬戸内市の市長を説得されたと思う。今までの施設を継続して使えとか、赤坂の炉を直して使えと言う議員もいるが、市長は現実路線として和気町との1市1町でやって行こうという点は大いに評価する。

しかし、市長は県が一層の支援をしてくれると言うが、何を根拠に樂觀的なことを言うのか。

答 県議等にもお願いをして働きかけをしている。ぜひ、県の枠組みを守っている赤磐市等に格段のご協力をお願いしたい。

問 ごみ処理場建設の今後の計画は

答 一義的には和気町との 広域建設でいきたい



山田秀士議員

はどうであれ赤磐市のごみ処理問題は待ったなしで最重要、最優先の課題である。今後の方向性として、和気町との合同建設、赤磐市単独建設も考えられるが、建設場所は今決まっている石蓮寺とするのか。また、石蓮寺での建設を断念した場合の地元対応はどうするのか。この問題の処理を誤れば行政不信を招き、行政執行上多大な支障となる。住民との約束事は守り信頼関係を失うことのないよう責任ある対応をお願いする。

答 備前市、瀬戸内市が組合から脱退表明したが、本市にとつてごみ処理施設



建設候補地（石蓮寺）

の建設は喫緊の課題である。市としては広域化によるスケールメリット、交付金等の優遇措置があることから国・県が進める広域化計画にのっとり事業を進めていきたい。現時点では和気町との方向付けを第一に考えて協議を進めたい。建設場所については和気町と規模の縮小や財政問題等から協議し、今まで地元の人たちと培った信頼関係また地元区長ほか役員の苦勞も十分理解しており、事業推進に当たっては慎重に、また、丁寧に対応したい。

議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

本会議、各常任委員会是一般に公開され、どなたでも自由に傍聴することができます。市政の動きや議員活動を知るためにもぜひ傍聴してください。（本会議：定員30人、各常任委員会：定員5人）

また、本会議については、市役所本庁舎1階市民コーナーにモニターを設置してありますので、どうぞお気軽にご覧ください。



●平成21年赤磐市議会本会議一般傍聴者数●

（ただし、議場にて傍聴した人数のみ）

種 別	会 期	傍聴者数
平成21年3月第1回定例会	平成21年2月9日～2月27日	23人
平成21年4月第2回臨時会	4月24日～4月27日	19人
平成21年5月第3回臨時会	5月27日	0人
平成21年6月第4回定例会	6月9日～6月26日	89人
平成21年9月第5回定例会	9月15日～10月15日	74人
平成21年12月第6回定例会	11月26日～12月19日	74人
合 計		279人

●平成21年赤磐市議会各常任委員会別一般傍聴者数●

（年間）

種 別	開催回数	傍聴者数
総 務 文 教 常 任 委 員 会	9回	22人
厚 生 常 任 委 員 会	7回	7人
産 業 建 設 常 任 委 員 会	15回	6人
合 計		35人

3月定例会のお知らせ

次回3月定例会は、2月25日から3月18日まで、22日間の会期で開催予定です。
多くの皆様の傍聴を
お待ちしております。

ご活用ください！

インターネットで会議録検索

平成20年6月2日より、本会議の会議録がインターネットで検索できるようになりました。これにより、今まで図書館でしか読むことのできなかった会議録が、ご自宅のパソコン等でも自由に閲覧することができ、大変便利です。

会議録を見る方法

方法① 赤磐市のホームページを開き、「赤磐市議会」→「会議録検索」と開いていく。

方法② ブラウザを立ち上げ、アドレスバーに直接下記のアドレスを入力する。

<http://www.kaigiroku.net/kensaku/akaiwa/akaiwa.html>



※ インターネットで検索できる会議録は、平成20年3月第2回定例会以降のものとなります。
※ 市内の図書館（中央、赤坂、熊山、吉井）においては今まで通り冊子の会議録を閲覧できます。

編集後記

赤磐市にとって最重要課題で進めてきた備前地域広域ごみ処理施設。

備前市と瀬戸内市がその組合議会から突然の脱退表明、対応に追われる中での12月議会でした。

残った赤磐・和気の枠組みで今後の模索をする臨時議会も行われましたが前後して、突然職員による不正・告訴が表に出て波乱の新年になりました。
市議会だよりの編集にも影響が出る中、最終校了までこぎつけました。今年も、よろしくお願い致します。

議会広報編集特別委員

委員長 実盛 祥五
副委員長 治徳 義明
委員 小田百合子
委員 川澄 章子
委員 行本 恭庸
委員 金谷 文則
委員 原田 素代